

関東圏FD学生連絡会 キック・オフミーティング開催

教育開発支援機構 FD推進センター

2011年9月16日(金) 13:00～市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階スカイホールにて、関東圏FD学生連絡会「キック・オフミーティング」が開催された。関東圏FD学生連絡会は、大学間を超えた学生による連携を通し、共に大学教育や学生生活を主体性溢れる充実したものにするために、学生自らが方針や目標を設定し、活動を共同で進めている(東洋大学文学部 曾根健吾さん代表)。その発足には関東圏FD連絡会(法政大学、東洋大学、青山学院大学及び立教大学)が基となっている。

今回の「キック・オフミーティング」には、オブザーバーとして明治学院大学及び横浜国立大学の教員・学生も参加された。

法政大学教育開発支援機構FD推進センター長の川上忠重先生の開会の挨拶から始まり、基調講演として「『学生によるFD活動』を考える」と題し、帝京大学高等教育センター井上史子先生より、FDとは何か?、日本と世界の学生FD活動について紹介があり、参加学生は熱心にメモをとり、質問も非常に活発に行われていた。

引き続き行われたワークショップでは、テーマを「良い授業とは?～他大学を知って自大学を知る～」とし、6グループに分かれて、グループ内のそれぞれの大学のメンバーと情報交換や意見交換により、「良い授業」について検討し、ワークショップ全体発表では、その結果をグループ代表者が紹介し、寸劇あり、教育論ありの楽しく充実した発表が行われた。

全体ミーティングでは、参加者全員で、関東圏FD学生連絡会の今後の活動方針や活動スケジュールについて熱い議論が交わされ、懇親会では、学生らしいビンゴ大会も企画され、大学間を超えた親睦の場となった。

法政大学教育開発支援機構FD推進センターの学生FDスタッフを含めた、関東圏FD学生連絡会の学生達の今後の活動が大いに期待されるものであった。

以上



開会の挨拶をする川上忠重 FD 推進センター長。



学生代表の東洋大学 曾根健吾さんから挨拶がありました。



帝京大学高等教育センター井上史子先生から学生によるFD活動についてレクチャーをいただきました。



当日の司会も学生自身が務めました。



ワークショップのテーマは「良い授業とは? ~他大学を知って自大学を知る~」。



グループワークでは、学生と教職員が一緒になって作業に取り組みました。



全体ミーティングでは、参加者全員で熱い議論が交わされました。



懇親会では、学生らしいビンゴ大会も企画され、大学間を超えた親睦の場となりました。